

は し が き

学習指導要領をいかにして地域社会の実態に即し、それぞれの学校の性格に応じ、また、個々の生徒の発達段階に適合させて実施していくかに関して、日夜、研究に全力をそそいでいます。

しかし、実際にあたっては、教科内容の設定や具体的な指導の方法など、幾多の困難な問題があり、これらの難問は、平常われわれのもっとも深く関心をはらっているところであり、またこの打開はなみなみならぬことと、痛感しているものであります。

ここに、直接指導する本校生徒を対象とした実験的研究のささやかな成果の一部をまとめて、昭和54年度研究紀要第24号としました。

今後における歩みの指針とするため、諸賢のご批判ご叱正を賜わりたいと存じます。

昭和54年5月18日

校 長 中 島 孝